

バレーボール *Volleyball*

西田 有志

NISHIDA YUJI



特集 いなべから世界へ

スポーツ選手にインタビュー



1. 小学校6年生のときの大安ビートルのチーム写真。(後列左から3人目)キャプテンとしてチームをまとめる 2. 小学生のときのアタック。西田選手の母いわく、フォームが今と変わらないそう 3. 滞空時間の長いアタックだけでなく、強力なサーブも西田選手の持ち味 4. ジェイテクト STINGS 最年少プレーヤーながら、チームの中心となって活躍

バレーボールを始めたきっかけは

兄と姉が大安ビートルでバレーボールをしていた影響です。やりたかったというよりは、バレーボールをすることが普通という感じで保育園のころから自然と始めました。

高校進学時、海星高校を選んだ理由は

愛知の強豪校からの誘いがありましたが、自分がよりレベルアップするために、もともと環境が整っている場所に行くのではなく、強い相手と戦えるチームをつくりたかったからです。

バレーボール選手になりたいと意識したきっかけは

少しだけ意識はしていました。(株)ジェイテクトから声をかけてもらったときに、選手になることを現実的に考えました。「実業団のチームでプレーする経験ができる良い機会だ」と快諾しました。自分が新しい環境で挑戦することに、両親が背中を押してくれたので、不安はなかったです。

実業団チーム・全日本代表でプレーするとき心がけていることは

実業団ではチームの成績が一番なので、チーム第一です。自分たちがやれることを精いっぱいして結果がついてくると考えてプレーしています。

全日本代表では一人一人の意識が大事で、自分に何が足りないのか把握し、補うためのトレーニングをどれだけストイックにできるかを大切にしています。自分と向き合うことに時間を割いています。

いなべとの接点は

気が向けば実家に帰っています。小さいころに大安ビートルOBの人にいろいろ指導してもらったことがありがたかったので、恩返しに行っています。技術的なことよりもバレーボールの楽しさを伝えられるようにしています。

東京オリンピックに向けて意識していることは

オリンピック日本代表のことは今は意識していません。毎日が勝負なので、実業団や全日本代表での一試合一試合を全力で戦い、目の前の目標をクリアしていった結果で選ばれるものだと思います。学生時代から、今の自分に必要な技量を身につけていくことを続けているので、その繰り返しです。

9～10月にかけて、第20回アジア男子選手権大会やワールドカップを控えている西田選手。自分の課題と向き合い、成長を続ける若きエースが世界を舞台に活躍するのが楽しみです。

Profile

生年月日：2000年1月30日
出身：大安町
経歴：大安中学校→海星高等学校→ジェイテクト STINGS
2018、2019年バレーボール全日本代表男子メンバーに選出
2018-2019 V.LEAGUE DIVISION1 サーブ賞、最優秀新人賞 受賞

